

# BLW

[RoHS指令対応品となります]



## BLWシリーズ

- バヨネットロック機構を使用した屋外用防水コネクタ
- アンロック時のジャッキ効果により、コネクタの離脱力が低減
- 従来の表面処理とその方法を異にした特殊表面処理を採用

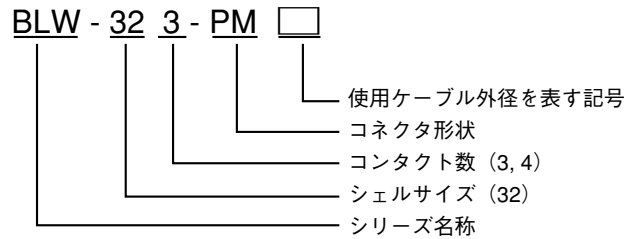
## 圧着コネクタ

(圧着タイプはお問い合わせください)

- BLW-323C
- BLW-324C

ケーブルアセンブリ(はんだ付け)を扱っております。  
詳細は営業部(TEL.03-3319-0552)にお問い合わせください。

## 形名の構成



## 材質及び処理

	材 質	処 理
シ ェ ル	アルミ合金	特殊化学処理
絶 縁 体	合成樹脂	————
コンタクト	銅合金	銀めっき
パッキン	合成ゴム	————

使用温度範囲： -25℃～+60℃

電線接続方式： はんだづけ

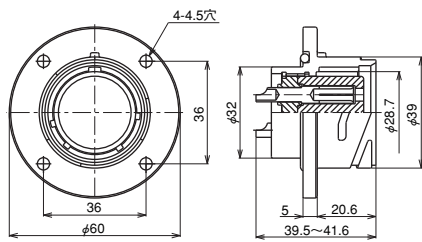
## 特性

- (絶縁抵抗) 最も近接する導体間を指定の電圧で測定した時、2,000MΩ以上である。
- (耐電圧) 最も近接する導体間に規定の電圧を1分間印加しても、短絡等の異常がない。
- (接触抵抗) 一对のコンタクトを正規の長さまで結合させた時の導体抵抗は、3mΩ以下である。
- (耐振性) 振動試験を行った時、機能上支障がなく、接触抵抗は3mΩ以下である。
- (衝撃) 衝撃試験を行った時、機能上支障がなく、接触抵抗は3mΩ以下である。
- (繰返し動作) 抜き差しを500回行った時、機能上支障がなく、接触抵抗は3mΩ以下である。
- (耐湿性) 湿度試験を行った時、機能上支障がなく、絶縁抵抗は10MΩ以上である。
- (温度サイクル) 温度サイクル試験を行った時、機能上支障がなく、絶縁抵抗は2,000MΩ以上である。
- (塩水噴霧) 塩水噴霧試験を行った時、機能上支障がなく、接触抵抗は3mΩ以下である。
- (防水性) 通常使用する状態で、水圧40kPa下に24時間放置した時、浸水の形跡がない。

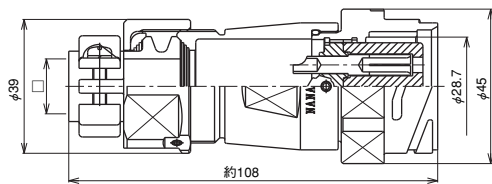
逆芯

メスコンタクト使用

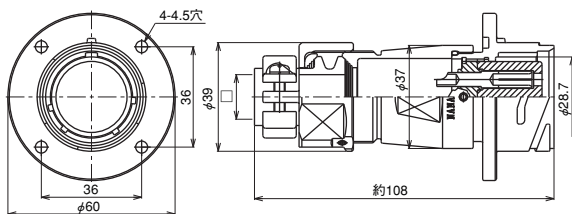
オスコンタクト使用



BLW-32\*-RF



BLW-32\*-AdF□



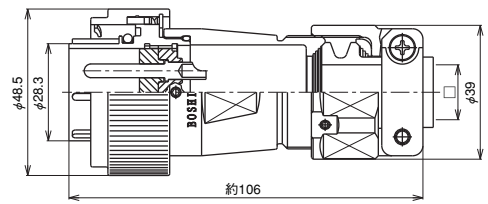
BLW-32\*-Ad(F)F□

レセプタクル類

結合

プラグ類

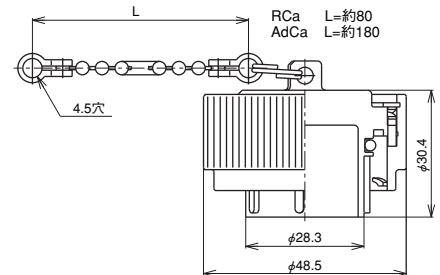
アダプタ類



BLW-32\*-PM□

アクセサリ

レセプタクル用キャップ  
(アダプタ用もかねる)



BLW-32-RCa  
BLW-32-AdCa

記号□	使用ケーブル外径
16	φ 11.5~φ 16.0
20	φ 15.5~φ 20.0

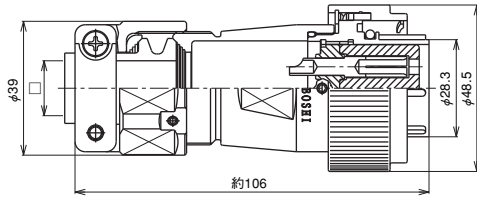
(ご注文の際は、使用ケーブル外径に適合する  
記号をご記入下さい。(プラグ、アダプタのみ))

※コンタクト数	3	4							
コンタクト配列 (ピンインサート 結合面から見て)									
定 格	30A 250V								
耐電圧(V)	2,000								
電線導体断面積 (mm <sup>2</sup> )	5.5又は6								

正芯

メスコンタクト使用

オスコンタクト使用

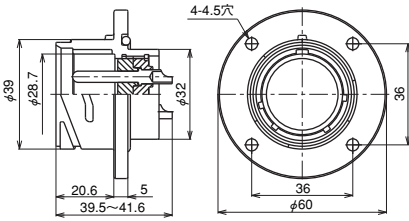


BLW-32※-PF□

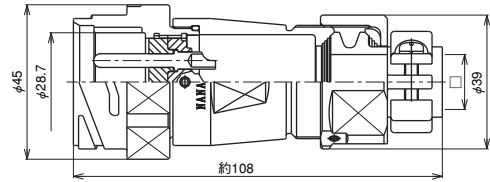
プラグ類

結合

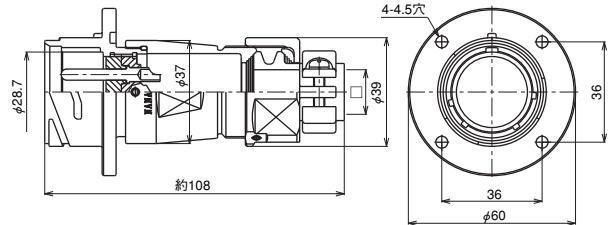
レセプタクル類



BLW-32※-RM



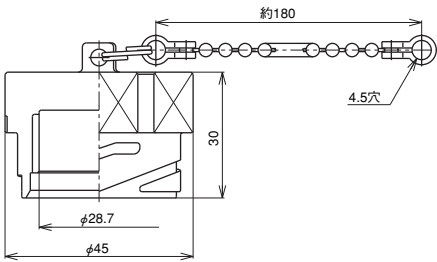
BLW-32※-AdM□



BLW-32※-Ad(F)M□

アダプタ類

プラグ用キャップ



BLW-32-PCa

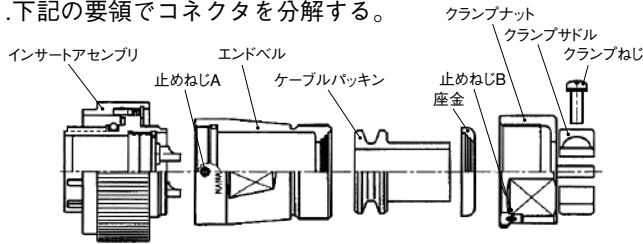
記号□	使用ケーブル外径
16	φ 11.5 ~ φ 16.0
20	φ 15.5 ~ φ 20.0

(ご注文の際は、使用ケーブル外径に適合する記号をご記入下さい。(プラグ、アダプタのみ))

※コンタクト数	3	4								
コンタクト配列 (ピンインサート 結合面から見て)										
定 格	30A 250V									
耐電圧(V)	2,000									
電線導体断面積 (mm <sup>2</sup> )	5.5又は6									

## BLW-32結線作業方法

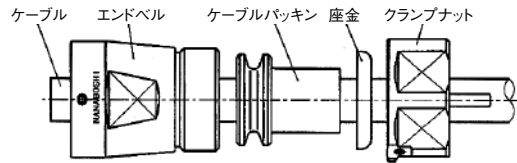
1.下記の要領でコネクタを分解する。



- ① 止めねじAを緩め、インサートアセンブリをエンドベルより外す（反時計方向に回す）  
止めねじの六角レンジサイズ：1.5mm
- ② 止めねじBを緩め、クランプナットをエンドベルより外し、座金とケーブルパッキンを取り出す

2.分解した各部品を右図の順でケーブルに通す。

注) 各部品の順番、向きを間違えないようにすること



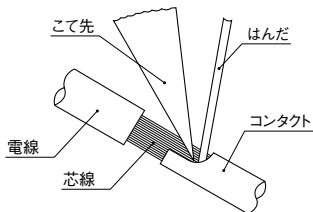
3.各使用ケーブルのシース及び電線を次ページの寸法で剥く。

4.端末処理を施したケーブルの芯線に予備はんだを施す。

注) 予備はんだは、ケーブルの被覆部まで行わないこと

注) 仕上がり状態は、コンタクトの孔径より小さく全体にムラのないこと

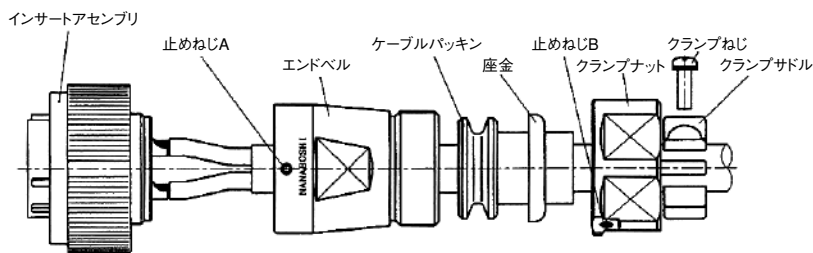
5.はんだづけ。



- ① コンタクトのソルダーポットに予備はんだを施した芯線を差し込む
- ② コンタクトと芯線をはんだごてで加熱する
- ③ はんだを流し込みコンタクトと芯線のすき間を埋める

使用はんだごて	導体断面積(mm <sup>2</sup> )	こて先温度(℃)
60W	5.5, 6	370~400

6.下記の要領でコネクタを組み立てる。



注意：ケーブルパッキンをエンドベルに押し込む際は、ケーブルに傷を付けないよう慎重に行うこと

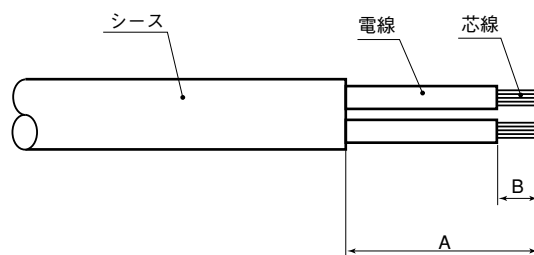
(※)



- ① インサートアセンブリを固定し、エンドベルを規定のトルク値で締付け、止めねじAで固定する
- ② エンドベル内にケーブルパッキンと座金を押し込み、エンドベルを固定し、クランプナットを規定のトルク値で締付ける（1分間に1回転以下の速度でねじ込むこと）
- ③ ケーブルを前後左右に動かしてなじませ(※)、再度規定のトルク値で締込み、止めねじBで固定する
- ④ クランプねじを規定のトルク値で締付ける

[単位：N・m]

締付け箇所	トルク値
インサートアセンブリーエンドベル	1.5~2.0
エンドベルークランプナット	2.5~3.0
止めねじA, B	0.3~0.4
クランプねじ	0.6~0.8



品名	A (mm)	B (mm)	端子番号	導体断面積 (mm <sup>2</sup> )
BLW-323-PF,PM,AdM,AdF,Ad(F)M,Ad(F)F	35	7	全極	5.5又は6
BLW-324-PF,PM,AdM,AdF,Ad(F)M,Ad(F)F				